



いまべつ冬まつり 巨大すべり台



冬荒馬 イルミネーション前の演舞

## 目次

- 2 ページ…… 3年ぶりの冬まつり開催
- 3 ページ…… 冬荒馬で夏に備えよう
- 4 ページ…… 旧青森北高校今別校舎改修工事完了
- 6 ページ…… 今別町消防団出初式
- 7 ページ…… 今別町入札監視委員会を設置
- 8 ページ…… 津軽線住民説明会  
第2 青函トンネル実現に向けて

- 9 ページ…… 町の出来事（1月下旬から2月中旬）
- 10 ページ…… お知らせコーナー
- 13 ページ…… エドワードの部屋
- 14 ページ…… Think with ぷーま！
- 15 ページ…… おかやんの沼 最終回
- 17 ページ…… 令和5年度町費負担教職員募集
- 18 ページ…… 定期的なお知らせ

# 3年ぶりの冬まつり開催

2月5日(日)、今別町除雪ステーションを会場に「いまべつ冬まつり」が開催されました。

町内外から多くの来場者が訪れ、冬の今別町が活気づきました。

アトラクションではタイヤチューブに乗って滑る巨大すべり台や雪玉を投げるストラックアウトに子どもたちが大喜び。そのほか、キッチンカーが3店舗出店するなど大盛況でした。

その他のイベント内容については以下のとおりです。



大人気、巨大すべり台

## 目指せ豪華賞品！チーム対抗アトラクション



雪上綱引きの様子

3人1組で行われたチーム対抗アトラクション。雪上ムカデ競走と雪上綱引きで順位を競い、豪華賞品を目指して10チーム30人が火花を散らしました。

特に雪上綱引きは白熱しました。トーナメント戦で行われ、優勝候補とされていた力自慢のお父さんが率いるチームが雪で足を滑らせてしまい敗退。そして、見事1位に輝いたのは大人1人子ども2人の親子で参加したチームでした。

## 今別町特産品鍋コーナー

今別町の特産品を町内外の出店者が調理、大川平加エグループの「いまべつ牛の牛すじ鍋」、ペンションだいはの「津軽半島今別サーモンぽかぽか鍋」、やきとりまごころの「奥津軽いのしし牧場のしし鍋」がお椀1杯100円で振る舞われました。

冬まつりのために特別に用意された鍋は、完売が出るほど好評で、その美味しさに多くの方が舌鼓を打っていました。



温かい鍋を求めて集まる来場者たち

# 冬荒馬で夏に備えよう

コロナ禍で荒馬まつりが中止になり、早3年。昨年はオンライン配信での開催となり、今年こそは今までどおりの荒馬まつりを開催し、そのまつりで万全の状態に跳ねるための最初の歩みとして冬荒馬が開催されました。

2月11日(土)、いまべつ総合体育館へ今別荒馬保存会、大川平荒馬保存会、さらに町外から荒馬に参加していた大学のサークルやその卒業生など50名が集まりました。当日はオンラインでの配信も行われ、会場に来られなかった方も久しぶりに荒馬の雰囲気を楽しむことができました。

夏の荒馬への準備ということで、まず今別と大川平の保存会が演舞を披露しました。

今回会場を訪れた参加者の中には、今別で荒馬を見たことがなかった方もいて、コロナ禍の影響が大きかったことを実感させられました。

次にそれぞれの保存会の馬と手綱に分かれて、1時間みっちり練習しました。保存会に所属している方や既に保存会から退いたベテランから教わった町外からの参加者は「今までと全然違う！これが荒馬なんだ！」と自分の跳ね方が変わったことに驚いていました。

最後には奥津軽いまべつ駅前のイルミネーションの前で荒馬を跳ね、雪に足を取られながらも練習の成果を発揮し、素晴らしい演舞を披露しました。

## 今別荒馬



今別の手綱を教える小田桐つや子さん

## 大川平荒馬



大川平の手綱を教える嶋中佳子さん



今別の荒馬を教える阿部聖さん



大川平の荒馬を教える平山敏明さん



それぞれ練習の成果を披露しました



# 旧青森北高校今別校舎改修工事完了

今別町立今別小学校の旧青森北高校今別校舎への移転に伴う改修工事が完了し、令和5年4月より今別小学校として開校します。

昭和34年に建設された今別小学校は、大規模改修が行われましたが、その後実施した耐震診断の結果、大規模な地震が発生した場合に倒壊の危険性があると指摘されました。

子ども達の安全と、安心な学習環境を確保するため、令和3年度末に閉校となった旧青森北高校今別校舎への移転を進めてきました。

改修工事が完了した旧青森北高校今別校舎は、当時の高校の面影を残しつつ、広々とした教室や設備が整えられた図工室、音楽室などの特別教室へと生まれ変わりました。また、各階にトイレや水飲み場を設置し、階段に取り付けられていた手すりも児童の高さに合わせ、小学生が学校生活を快適に過ごせるよう改修しました。

新校舎への移転は3月の卒業証書授与式終了後に準備を進めていき、令和5年4月7日（金）に実施予定の入学式から、新たな校舎での生活がスタートします。



広々とした空間の教室

## 今別小学校の沿革

明治9年	今別小学校創立
明治14年	今別小学校と分離し、一本木村（現在の山崎地区）に一本木小学校創立
明治20年	今別尋常小学校となる
昭和22年	学制変革により、今別小学校となる
昭和41年	一本木小学校が今別小学校に吸収統合。今別小学校校舎の増築工事終了まで一本木小学校を今別小学校第2校舎とする
昭和43年	今別小学校校舎の増築工事終了 第2校舎の児童も今別小学校校舎への登校が始まる 今別小学校と一本木小学校の事実上の統合が完了
平成12年	今別小学校、大泊小学校、開智小学校の3校が統合し、新生今別小学校として創立 校歌、校章の制定
平成15年	今別小学校に二股小学校が統合
平成16年	今別小学校に大川平小学校が統合
平成28年	プレハブ校舎が完成し、1～3年生の教室となる 2・3年生が複式学級となる
平成29年	1・2年生が複式学級となる 鉄筋校舎解体作業終了

# 今別小学校の新たな歴史が始まる



今別小学校として生まれ変わった新校舎

鉄筋コンクリート3階建ての校舎は、1階に1年生と特別支援学級、2階には2年生から6年生の教室と特別支援学級、3階には図書室や音楽室、図工室などの特別教室が配置されました。そのほか、開放的な空間の多目的ホール、放課後子ども教室が整備されるなど、子どもたちの安全に配慮された校舎となっています。



一新され清潔感のある内装に！写真は図工室です



広々とした多目的ホール

# 今別町消防団出初式

今別町消防団出初式が3年ぶりに挙行されました。

今別町開発センターにおいて式典が行われ、阿部町長から団員への挨拶、平山団長から訓示がありました。

その後、開発センターの駐車場において消防車両の機械器具点検が行われ、消防団員は機敏な動きで車両や小型ポンプに異常がないことを確認しました。

パレードの始まりを告げるサイレンが鳴り響くと、消防車両は開発センターを出発し、町内を巡回しました。



阿部町長から団員への挨拶



平山団長からの訓示



出初式へ出席した団員



機械器具点検の様子



開発センターからパレードへ出発



# 今別町入札監視委員会を設置

## ○目的

町が発注する入札工事等に関し、入札及び契約手続における「透明性の確保」と「公正な競争を促進」のため、今別町入札監視委員会を第三者機関として設置されました。

併せて、町が発注したすべての入札等事案について適正に実施されたかの検証並びに調査を行いその結果を広く公開することを目的とします。

委員名簿	
職業	氏名
弁護士	山口 最史 やまぐち よしふみ
弁護士	伊藤 貴大 いとう たかひろ
公認会計士・税理士	今孝 彰 こん たかあき
弘前大学 人文社会科学部准教授	長谷河 亜希子 はせがわ あきこ

(任期 令和5年1月27日～令和7年1月26日)

## ○役割

- ・町が入札、発注を行った工事等の中から委員会が抽出したのものに関し、入札参加資格の設定並びに指名の理由及び経緯について調査審議を行います。
- ・調査審議過程において、入札結果に不自然さ等を認めた場合、入札執行者に対し、入札結果に関する入札参加者への聴き取り調査及びその結果に報告を求めます。
- ・その報告に関して疑義があると判断した場合は、入札執行者に対し指摘事項の改善等の措置を講じるよう求めるとともに、指摘事項が入札談合に関するものについては、司法当局及び関係機関と相談し公正取引委員会に通知するよう具申します。
- ・入札及び契約手続の運用状況等について報告を受け、意見の具申を行います。なお、入札及び契約制度の改善を役場と監査委員が連携して行います。
- ・一般競争入札において競争資格がないと認めた理由及び指名競争入札における非指名理由等に係る再苦情について審議を行います。
- ・町長等からの依頼による案件等について調査審議並びに関係者から聴き取り等を行います。

### 1月27日 入札監視委員会委員委嘱状交付式

入札監視委員会委員委嘱状交付式が開催され、弁護士や公認会計士、大学の准教授など4名に対し、阿部町長から委嘱状が手渡されました。



写真左から長谷河亜希子委員、今孝彰委員、阿部町長、山口最史委員長、伊藤貴大委員

### 2月21日 第1回定例会議

第1回入札監視委員会定例会議が行われ、これからの審議方法等について話し合われました。



挨拶をする山口最史委員長

# 津軽線住民説明会

2月12日（日）、今別町荒馬の里活性化センターにおいてJR東日本盛岡支社による津軽線住民説明会が開催されました。

35名の方が参加し、JR東日本盛岡支社の久保田支社長から津軽線現状と今後の進め方について説明を受けました。

質疑応答の時間では「病院へ行くために必要だから復旧させてほしい」「人口が減っているのはわかるが、鉄道がなくなったらもっと人口が減る」などの津軽線完全復旧を求める声や「代替交通の情報が住民に入っていない」や「蟹田駅で青森行きに乗り換えする際の階段が辛いからどうかしてほしい」などの意見が参加者から挙がりました。

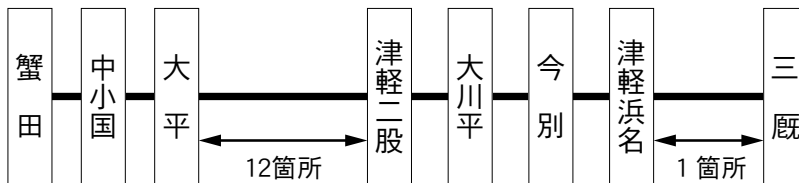


会場がほぼ満席になり関心の高さがうかがえました

## ■説明内容

### ①津軽線の被災状況

- ・ 昨年8月の大雨は大平駅～津軽二股駅間に集中
- ・ 「枝沢橋りょう」「第一今別川橋りょう」の被害が甚大



枝沢橋りょう応急処置後  
幅28m高さ4.5mの盛り土が流出

### ②復旧工事の検討状況

- ・ 早くても雪解け後の着手
- ・ 着工から4ヶ月程度かかる見込
- ・ 費用は少なくとも6億円程度  
復旧費用内訳  
応急対応（実施済）に約2億円  
盛り土やレールに約4億円以上

### ③津軽線の利用状況

- ・ 中小国～三厩の平均通過人員  
1987年度：415人  
2019年度：107人 74%減
- ・ 朝晩の代行バスは平日・休日とも概ね被災前の鉄道と同水準
- ・ 昼時間帯のデマンドタクシーは被災前に比べて下回っている

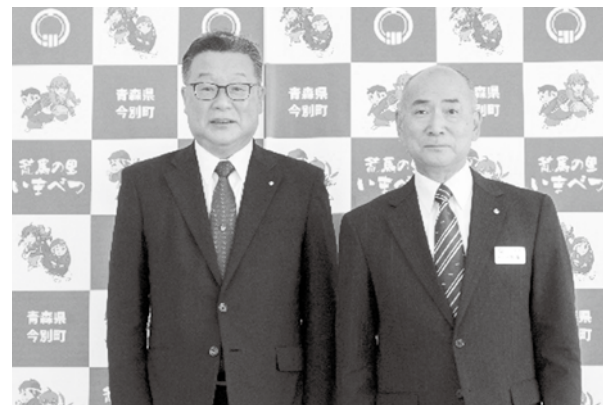
### ④今後の進め方

- ・ JR東日本の考え  
復旧するしないの前提を置かず  
に持続可能な地域交通の維持と構築について地域の方と話し合いたい
- ・ 令和5年1月18日から「今別・外ヶ浜地域交通検討会議」を開催し、検討を深めている

## 第2青函トンネル構想の実現に向けて

北海道松前郡福島町から鳴海清治町長が来町されました。福島町は、第58代横綱「千代の富士関」出身の町として有名ですが、青函トンネル工事の北海道側基地があった町でもあります。

現在、福島町では第2青函トンネルの構想実現に向け、機運を高めるべく800人近い会員が所属する団体が立ち上がっています。青函トンネル本州側の出入口である今別町からも機運を高め、一緒に盛り上げて行きたいと両町長は語っていました。



鳴海清春町長（写真左）と阿部義治町長（写真右）



1  
27

## 今別町文化賞・スポーツ賞授与式

令和4年今別町文化賞・スポーツ賞授与式が行われ、文化賞には今別中学校3年生の入江真央さんが、スポーツ賞にはむつ市立田名部高校2年生の横岡奈子さんが受賞しました。

入江さんは第61回東津軽郡中学校英語弁論大会暗唱の部で第1位という優秀な成績を収め、横岡さんは第75回青森県高等学校総合体育大会フェンシング個人女子フルーレで第1位という成績を収めました。

授与式には入江さんが出席し、佐藤教育長から賞状と記念品を授与されました。



授与式後の記念撮影

1  
28

## これで君もスピードスター！

いまべつ総合体育館で走り方教室が開催され、こども園の園児から中学校1年生までの25人が参加しました。

講師には青森市内にあるジム「REXSIS」でインストラクターをしている新盛聖人さんと市川豊久さんが訪れ、参加した子どもたちにスタートの仕方や走っているときの足を動かすリズムなどを教えました。

走り方を教わる前は体育館の床を踏みつけるような足運びの子どももいましたが、教わった後は自分の体を前に押し出すように床を蹴る足運びができるようになっていました。



教えてもらった走り方をできているかな

2  
8

## 退任民生委員へ感謝状

令和4年11月末で民生委員・児童委員を退任された吉田すゑさん（大泊地区）、相内久江さん（二股地区）、小倉三佐子さん（袈月地区）が、多年にわたり地域の福祉向上に尽力された功績により、このほど厚生労働大臣及び青森県知事から感謝状が贈呈され、阿部町長から伝達されました。

また、小鹿輝恵さん（村元地区）が青森県知事から感謝状を贈呈されました。

阿部町長からも、長年にわたり地域に貢献されたことに対し、感謝の意が表されました。



写真左から大畑恒子委員、吉田すゑさん、相内久江さん、小倉三佐子さん、阿部町長

## わんつがこらむ

生活する上でどうしても出てしまうごみ。収集車が来るギリギリの時間に捨てにいくと、ごみ捨て場が町指定の袋でいっぱいになっているのを見たことある方もいるかと思います。

その沢山のごみを全部収集し処理場へ運搬するには、どれくらいお金がかかると思いますか？  
ごみの収集運搬にかかった金額は約2,500万円！

驚きの金額かと思いますが町のお金だけではなく、半分ほどが助成金で賄われています。

それは公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団の原子力施設立地振興対策事業助成金です。近くに原子力施設がない市町村を対象に地域産業の育成や地域住民の福祉の向上などの支援を目的としています。

## ●お知らせコーナー

お問い合わせ先=【問】 電話番号=電話 ファックス番号=ファックス メールアドレス=メール

## 陸・海・空自衛官募集

○募集種目	一般曹候補生（第1回）
○概要	基幹要員である曹を養成
○応募資格	18歳以上33歳未満 ※32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者
○受付期間	3月上旬～5月中旬
○試験日	5月下旬
○試験会場	試験会場未定

【問】自衛隊青森地方協力本部青森募集案内所 電話：017-783-2995

## 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の電子送付サービス開始

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の電子データをマイナポータルの「お知らせ」で受け取れる電子送付サービスを開始しました。令和5年1月からは、受け取ったデータを国税庁の提供するe-Tax等に取り込むことができ、簡単に確定申告や年末調整ができます。

詳しくは、日本年金機構のホームページをご覧ください。

## 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

## ○新たに後期高齢者医療制度に加入された方の保険料の納め方について

保険料は年金からの天引き（特別徴収）が原則ですが、新たに後期高齢者医療制度に加入された方は年金からの天引きが開始されるまで時間がかかるため、加入当初は納付書で納めていただくことになります。

口座振替を希望される場合は手続きが必要です。これまで国民健康保険税（料）を口座で納めていた方も、改めて手続きが必要です。

【問】町民福祉課 後期高齢担当 電話：0174-35-3003

## 3月は自殺対策強化月間です

全国的に自殺者数が最も多いとされる3月は「自殺対策強化月間」となっています。自殺のほとんどは追い込まれて起こるものであり、その理由には心の健康問題だけでなく、病気や生活苦、人間関係の悩みなどの様々な問題があるとされています。

誰かに話すことで心が軽くなり解決のきっかけを得られるかもしれません。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

事業名	相談機関・相談員	会場	相談日及び時間
電話相談	役場町民福祉課		毎週月曜日～金曜日（祝祭日を除く） 8：15～17：00
電話相談	社会福祉協議会		毎週月曜日～金曜日（祝祭日を除く） 8：15～17：00
法律相談	弁護士及び司法書士	開発センター	※毎月の広報をご確認ください

このほか、お仕事や病気、暴力など様々な悩みごと別の相談先やSNS・チャット相談などの相談先一覧のチラシを役場町民福祉課窓口、社会福祉協議会等に備え付けてありますので、お気軽にお取りください。

【問】今別町社会福祉協議会 電話：0174-35-3081

今別町役場町民福祉課 電話：0174-35-3004

## 「成年後見人制度」をご存じですか？

成年後見人制度は、知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで物事を決めることに不安や心配がある人がいろいろな契約や手続きをするときに、成年後見人がお手伝いをする制度です。

### 1. 「法定後見」と「任意後見」

成年後見人制度には、現時点で判断能力に不安がある人が利用できる「法定後見」と将来的な判断能力の低下にそなえる「任意後見」の2つがあります。

### 2. 「成年後見人」によるお手伝いについて

成年後見人は制度を利用する人の希望や気持ち、生活の状況などを考えて適切な支援・お手伝いをします。ただし、「法定後見」では制度を利用する人が「補助」「保佐」「後見」のどれに当てはまるかによって成年後見人がお手伝いできることが異なります。任意後見では何をお手伝いしてもらうかをあらかじめ成年後見人と相談し、決めておくことができます。

### 〈類型と対象者〉

法定後見	補 助	日常的な買い物や重要な契約はひとりでできるが、トラブルがあったときに被害がある危険性が高いため、お手伝いしてもらった方がよい人
	保 佐	日常的な買い物はひとりでできるが、重要な契約は難しい人
	後 見	日常的な買い物も重要な契約もひとりで難しい人
任意後見	今は日常的な買い物も重要な契約も何も心配することなくひとりでできるが、将来に備えたい人	

判断能力に不安があっても、安心して生活するために成年後見制度について知っておきましょう。  
※詳しくは厚生労働省ポータルサイト「成年後見はやわかり」をご覧ください。

ポータルサイトはこちら→



【問】町民福祉課 電話：0174-35-3004

## 町の情報がテレビでも見られます！

令和4年5月16日から青森朝日放送（ABA）のデータ放送で町の情報を見られるようになっております。

青森朝日放送の「dボタン広報」を活用し、日々の暮らしに必要な情報やイベントの開催お知らせだけではなく、災害時の避難所の開設などのもしもの時に必要な情報もお知らせします。

### テレビで町の情報を見る方法



①チャンネルを青森朝日放送（ABA）に合わせる

②dボタンを押す

※お使いのリモコンによって  
ボタンの位置は変わります

③今別町のdボタン広報を選ぶ  
決定ボタンの周り  
にある矢印ボタン  
を使ってください。



## いまべつを語り継ぐ会からのお知らせ

## ●令和5年度公民館リクエスト歴史講座の日程が決まりました

開催場所は今別町中央公民館、開催時間は開催日の午後5時～6時まで。

聴講希望の方は、開催日の1週間前までに、いまべつを語り継ぐ会事務局（電話：090-8780-4737）へ申し込んでください。聴講料は無料です。町外の方も聴講可能です。

回	開催日	演 題	講 師	所 属
1	4月7日(金)	「天然記念物のもつ歴史・文化的な魅力に迫る」	竹内 健悟	青森大学客員教授
2	5月12日(金)	「大開城跡の利活用について」	工藤 忍	青森県埋蔵文化財第三グループ 文化財保護主幹
3	6月9日(金)	「上磯と下北の地域的特性」 ～アイヌ衣服の残存状況を通して～	瀧本 壽史	弘前大学特任教授
4	6月16日(金)	「世界遺産について」	一町田 工	三内丸山応援隊 代表理事
5	6月23日(金)	「本覚寺の話っこ」	工藤 貞導	第30世本覚寺住職
6	7月14日(金)	「今別町奉行所での一コマ」 ～今別町奉行事件簿4～	福井 敏隆	元青森県史編さん 近世部会専門委員
7	7月21日(金)	「正行寺の話っこ」	高名 和丸	第17世正行寺住職
8	8月25日(金)	「少し前の今別町を後世へ残しましょう」～昭和から平成にかけての集落と暮らし～	中園 裕	青森県県民生活文化課 総括主幹（県史担当）
9	9月8日(金)	「今別八幡宮鎮座の地が『平壱之助の居城跡』である不思議な世界？」	榊原 滋高	五所川原市市浦総合支所主幹・地域振興係事務取扱
10	10月13日(金)	「聞法寺の話っこ」	工藤 堯幸	第6世・聞法寺院首

## 引っ越しされる皆さんへ

## ○自動車の引っ越し手続きも忘れずに

自動車種別割の納税通知書は、原則として自動車検査証に記載されている住所にお送りしています。引っ越し等で住所が変わったときは、運輸支局等において住所の登録変更手続きが必要となります。

すぐに変更登録の手続きができない場合は、町役場の窓口に備え付けの専用チラシ等により地域県民局県税部にご連絡いただければ、納税通知書を新しい住所にお送りすることができます。

また、県税・市町村税インフォメーションの中の「自動車税種別割住所変更届」からも、自動車税種別割の住所変更の届出をすることができます。

事務処理の都合上、4月上旬までにご連絡をお願いします。

【問】東青地域県民局県税部課税第三課 電話：017-734-9974

県税・市町村税インフォメーションはこちらのQRコードから→



# Edward の 部屋

今別町ALT  
ドウェイン・エドワード

Hello everyone! It's your ALT Edward.

皆さんこんにちは！ALTエドワードです。

I am happy to think that winter will soon be over. I am excited for the cherry trees to bloom soon.

もうすぐ冬が終わると思うとうれしいです。桜が咲くのをたのしみをしています。

In August I will return to America. I will be studying business analytics in graduate school starting in September. Living and working in Imabetsu has been a wonderful experience that I will cherish for the rest of my life. Thank you all for welcoming me to your community. I look forward to spending the rest of my term with enjoy you all until the end.

僕は8月に帰国します。9月から大学院でビジネス分析学を学ぶ予定です。今別での生活と仕事は、僕の一生の宝物になるような素晴らしい経験でした。僕を受け入れてくれたみなさんありがとうございました。残りの任期も、最後まで皆さんと楽しく過ごしたいと思っています。

There are many things I want to do in Japan before I return home. I want to visit Shingo in Aomori prefecture. They claim to have Jesus' real tomb there. It is very famous in America, and my friends always ask me if I have been there.

帰国する前に、日本でたくさんしたいことがあります。まず青森県の新郷村に行ってみたいです。キリストの本物の墓はそこにあると言われています。アメリカではとても有名な話で、アメリカの友達からよく行ったことがあるかと聞かれます。

I also want to climb to the top of Mt. Fuji. I can't do it until July, so it might be one of the last things I do before I go back to America.

あと、富士山の頂上に登りたいです。7月まではできないので、アメリカに帰国する前の最後にすることになると思います。

Do you have any recommendations for things to do before I leave Japan? It can be foods to eat, places to go, or activities to try. I want to experience as many things as I can. Please let me know if you have any ideas.

日本を発つ前にやっておいたほうがいいおすすめがあれば教えてください。食べ物や場所アクティビティなど、できるだけ多くのことを体験してみたいので、何かアイデアがあれば教えてください。

## ●暮らしと電気安全／3月

### ところで地球温暖化ってどんなこと？

地球は太陽に暖められています。一方で赤外線形で宇宙へ熱を逃がし、丁度バランスが保たれています。

ところが大気中に二酸化炭素（炭酸ガス）等が増えると、宇宙に逃げる熱をさえぎるため地球が温室のようにどんどん暖かくなり、地球環境に大きな影響を与えています。

私たちは、日常生活のため大量のエネルギーを消費しています。

石油や石炭などの化石燃料を燃やし、二酸化炭素を発生させている現状を再度認識し、どうしたら地球温暖化防止に寄与できるのか、考えてみましょう。



## ◎ 地域の文化を受け継ぐために必要なことは？

こんにちは、地域プロジェクトマネージャーの“ぶーま”こと周布祐馬です。今回みなさんと考えてみたいのは、地域の文化を受け継ぐために必要なことは何か？ということです。

### ～地域文化を“渡す側”と“渡される側”～

地域の文化を受け継ぐために様々なことが必要になると思いますが、特に重要なのは地域文化を“渡す側”と“渡される側”が必要ということではないでしょうか。“年長者”と“若者”と言ってもよいかも知れません。自分の家に伝わる料理の味を親から習う。地域の神社のしめ縄づくりを覚える。どちらも地域文化の受け継ぎです。そして両者の間には信頼関係も必要です。地域文化の受け継ぎは一度で完了するものは少ないでしょう。長年過ごした家族やご近所さんという間柄があり、その人たちが何度も繰り返し教え、教わることを通して地域文化が受け継がれていくものだと思います。全国的にはこうした活動がなくなりつつありますが、私の目には、今別では今もおお、あちこちで頻繁に行われているように映っています。

### ～“渡される側”がいなくなる!?～

次に、この“渡す側”と“渡される側”の関係について近年の状況について考えてみます。

ここでもやはり影響するのは少子高齢化です。つまり“渡される側”が少なくなり、一人一人の受け継ぐものが増えているという現状があります。今後ますます少子高齢化は進み“渡される側”の負担も大きくなります。そして地域文化が衰退・消滅してしまう土地もさらに増えることでしょう。それはここ今別も例外ではありません。荒馬を例に見てみても、既に担い手がいなくなり、荒馬を跳ねなくなってしまった地区もあると聞いています。

### ～人と人とのつながりが信頼関係のスタートライン～

ではこのような現状に対して、私たちは黙って見守ることしかできないのでしょうか。廃れゆく私たちの文化を残すことは叶わないのでしょうか。私はできることはまだまだたくさんあると考えています。その1つに“地域外の人を力を借りる”ということがあると思います。地域外の人が地域文化を“渡す側”や“渡される側”を助け、地域文化の受け継ぎを物理的・精神的にサポートすることができれば、少子高齢化の現代でも地域文化を受け継いでいくことは可能であると考えます。そしてこれらを実現するためには地域内の人同士だけでなく、地域外の人との信頼関係も必要となります。そして地域外の人と強い信頼関係で結ばれることができたならば、ひょっとすると地域外の人から自ら“渡される側”になることもできるかも知れません。

去る2月11日、いまべつ総合体育館で荒馬のイベントを開催しました。コロナの影響もあり失われつつあった町内外の荒馬を愛する人々同士のつながりを取り戻すため、そして新たなつながりを生み出すため、“冬荒馬”と称し県外の仲間たちと共に数年前から構想を練ってきました。人と人との信頼関係はつながりの上に成り立ちます。言い換えれば、人と人とのつながりがなければ信頼関係も生まれません。

### ～私が考える地域の文化を受け継ぐために必要なこと～

これまで長年受け継がれてきた地域の文化は荒馬だけではありません。そのほかの地域文化の受け継ぎにも地域外の人が活躍できると考えています。私は地域に“渡す側”や“渡される側”がまだ残っている今が行動を始める最後のチャンスだと感じています。

私が考える現在の今別にとって地域の文化を受け継ぐために必要なことは「地域内外を問わず人と人とのつながりを増やし、“渡す側”“渡される側”双方の信頼関係を強めること」です。強い信頼関係があれば、「この人に受け継ぎたい」「この人から学びたい」という想いが自然と湧いてくるものと思います。

みなさんが考える“地域の文化を受け継ぐために必要なこと”はどんなことでしょうか？

# おかやんの沼

地域おこし協力隊 岡田 和也

こんにちは。おかやんです。3月末をもって今別町の地域おこし協力隊を退任することになりました。私が「おかやんの沼」を執筆するのも今回が最後になりますので今までの活動報告をします。

## ●活動1年目

1年目は町を知るという意味合いも込めて「とりあえず思いついたこと、頼まれたことに挑戦してみよう」という気概で活動していましたが、今別で過ごすにつれて、段々と自分で気づいた町の課題を解決するよう考え方が変わりました。

### ・今別町地域おこし協力隊就任

2021年の5月半ばに新幹線に乗って身一つで今別に移住しました。今別に足を踏み入れて最初は「空が広い」と思いました。

6月1日に就任して、しばらくは主に地域のみなさんへの挨拶回りをしていました。

### ・オンライン青森夏まつり

就任して間もなく「オンライン青森夏まつり」に参加することとなり、その準備に励みました。「オンライン青森夏まつり」は青森県内の有志がコロナ禍で活気が失われつつある青森を、「青森の魂」とも言える祭で盛り上げたいという思いから開催されました。私も荒馬を全国に届けるチャンスだと思い、学生時代からお世話になっている大川平荒馬保存会の力を借りて荒馬を全世界に発信しました。

### ・荒馬マスク&マスク販売用通販サイト作成

依然として続くコロナ禍で町内外ともに「荒馬を通して何かできることはないか」との問いかけから、新たな荒馬グッズとして「荒馬マスク」の製作が開始しました。マスクの製作は嶋中佳子氏を中心に町内のお母様数名、私は補助金の申請と通販用のサイトの製作に取り組みました。

完成したマスクは町内だけでなく、遠く離れた土地の荒馬ファンにも行き届いております。荒馬マスクの製作を通して町内に小さな雇用が生まれました。

### ・雪かきボランティア

私が来た年度は雪の量が凄まじく、皆さんも苦労したと思います。人生初の雪国生活は、トイレの排水管凍結が断トツで辛かったです。

荒馬の里資料館の雪かきを管理者の嶋中卓爾氏と協力して行なったのですが、雪かきの危険性を体感しました。その経験から高齢者単身の雪かきの手伝いや地域住民との交流を目的として雪かきボランティアに取り組み、何件か雪かきの手伝いを行いました。

初めての冬は心身ともに決して楽ではない季節でしたが、その苦悩があるからこそ春を心の底から喜べる北国のスピリットを理解しました。

1年目の活動を経て「とりあえずやってみる」から「町が必要としているものは何か」を考えるようになりました。一つ一つの仕事に目的を持つ大切さを実感しました。



## ●活動2年目

### ・特産品紹介パンフレットの作成

地方移住にありがちな話ですが、今別も例外なく食べ物美味しいです。この食材の魅力を伝える手段としてパンフレットといっても特産品を紹介するだけではなく、生産者のこだわりやバックグラウンドが伝わるパンフレットです。このため一次産業に携わる方々に取材をしていました。

ちょうどその頃、東京にて「青森・函館産直市」の開催が決まりました。取材で知り得た今別町内の生産者のストーリーを全国の人に知ってもらうための特産品紹介パンフレットを完成し、無事に東京の産直で配布することが出来ました。

### ・豪雨復旧作業

8月は豪雨の復旧作業に尽力しました。冠水後に泥まみれになった奥津軽いまべつ駅の排泥作業や避難所の支援のほか、ぶどう農園に大きな被害があった嶋中卓爾氏の復旧作業にプライベートながら学生時代の友人を招いたりしました。

私の友人たちを始めとする荒馬の関係人口は、心の片隅で今別のことを心配しているものの、どう関わるべきか分からないといった様子です。特に私と同世代のいわゆる「若手OB」は今別に住む人たちとの太い伝手もないです。このことを考慮すると関係人口と今別町をつなぐ仲介役の必要性は大きく感じました。

### ・ゆるキャラSNS

今別町には「あらまくん」と「たずなちゃん」という可愛いキャラクターがいます。もう少し彼らの活躍があってもいいなと思い、手軽な情報発信媒体としてSNS投稿を始めました。投稿内容を津軽弁に訳してもらうことで町内外問わず今別町に関心を持ってもらうことを目的としています。「ゆるキャラの発信」だからこそ見てくれるファンもいるので私の任期終了後も2人のSNS発信を手伝ってもらえれば幸いです。



### ・荒馬交流事業

コロナ禍を迎えてから3年以上、荒馬保存会は学生を受け入れられていないという状況で、次年度以降にもし学生の受け入れを再開したとしても初めて町を訪れる学生が多いと思います。学生たちと荒馬保存会の間に広がってしまった心の距離を少しでも縮めるために荒馬交流会を私の母校である立命館大学で実施しました。

また、学生と保存会だけでなく社会人になってから荒馬に携わっていないOBも多いです。地理的な参加のハードルが下がる京都で交流会を開催することで、新たな関係人口を増やすことも目的としていました。

交流を通じて学生、OB、保存会それぞれに新たな交流が生まれました。交流会以前は私が学生と保存会のパイプ役を務めていましたが、今回の交流会で保存会の若手と学生との間に大きな仲間意識が芽生えました。

私にとっての一つの目標であった、「保存会と学生を繋ぐ」ことを達成できました。まだまだ課題は多いですが大きな一歩を踏み出せたと思います。

### ・雪かきの手伝いや冬まつりの開催準備に努めました。

雪かきは町を歩いて雪かきが大変そうな人に声をかけて手伝っています。

冬まつりでは実行委員会の会長になりました。雪の巨大滑り台製作や会場アナウンスといった「雪国の小さな町」でなければなかなか経験できなかったことも多かったです。冬まつり当日は天気にも恵まれて過ごしやすく、無事に終了できてよかったです。

残りの協力隊の任期はお世話になった人たちの挨拶や引き継ぎ資料の作成になります。2年弱という短い期間でしたが今別町にはとてもお世話になりました。新卒で社会経験がない私を受け入れてくださりありがとうございます。一度今別を離れますが、経験を積んで町のためにできることを増やして帰ってきたいと思います。その時まで皆さんお元気で。ご精読ありがとうございました！



# 令和5年度 今別町会計年度任用職員 (町費負担教職員) 募集のお知らせ 第1次

## 1. 募集の概要

職 種	中学校臨時講師
身 分	今別町会計年度任用職員（フルタイム）
職務内容	今別中学校で、県費負担教職員と同様の校務を行う
必要資格	中学校教諭免許
採用予定人数	1名
申込み受付期間	令和5年3月30日（木）まで （但し、受付期間中であっても採用者が決定し次第、受付を終了します。）

## 2. 勤務条件

任用期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
勤務場所	今別町立今別中学校
勤務日	1週間当たり5日
勤務時間	1日7時間45分
休日勤務	学校行事、大会等参加の場合あり
給 料	月額 290,400円 ※年収は県費負担臨時講師（大学新卒）と同水準程度となります。 ※教職調整額、義務教育等教員特別手当、寒冷地手当相当額が加算された金額です。
諸手当	通勤手当、住居手当、期末手当
休 暇	年次有給休暇、各種特別休暇
加入保険等	青森県市町村職員共済組合
災害補償	労働災害補償が適用されます。
服 務	地方公務員法の服務に関する規定が適用され、違反した場合は懲戒処分等の対象になります。

## 3. 担当課・申込書提出先

担当課 申込書提出先	今別町教育委員会教育課（電話：0174-35-2157） 〒030-1502 青森県東津軽郡今別町大字今別字今別166 ※採用申込書は今別町教育委員会に備え付けてあります。 ※町ホームページからもダウンロードできます。
---------------	---

## 子育てサロンほっとケーキだより

### サロンほっとケーキのお知らせ

お元気におすごしでしょうか。

今年度のサロンほっとケーキは3月1日が最後の開催となりました。

また4月から皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

#### 【お問い合わせ先】

今別こども園 電話：0174-35-2128  
今別町教育委員会 電話：0174-35-2157

## 町の行事予定

(令和5年3月1日～4月10日) ※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

3 月	
10日(金)	今別中学校卒業式
12日(日)	婦人芸能祭(開発センター) <span style="float: right;">【教育委員会】</span>
17日(金)	県立高校合格発表 今別小学校卒業式
24日(金)	今別小・中学校修了式・離任式
4 月	
7日(金)	今別小・中学校入学式

## 税金・保険料の納期限はこちら(3月1日から4月10日)

3月31日(金)	●後期高齢者医療保険料第9期納期限 <span style="float: right;">【町民福祉課】</span>
----------	--

## 戸籍の窓口

※ご家族から了承を得た方になります。  
(1月1日から1月31日までの届出分)

### お悔やみ申し上げます

相内喜久男さん(83) 今別  
相内 豊春さん(93) 大川平  
相内 光代さん(66) 二股  
太田 久修さん(89) 今別  
小倉 みきさん(74) 今別  
小山内ひろさん(91) 村元  
田中とき系さん(92) 大川平  
田中 偕さん(93) 今別  
中嶋 幸男さん(83) 今別  
横岡 亘さん(84) 奥平部

## 今別町の姿 (令和5年1月31日現在)

面積 125.27km<sup>2</sup>  
人口 2,294人 (-17)  
男 1,095人 (-9)  
女 1,199人 (-8)  
世帯数 1,331世帯 (-7)

( )内は前月比

## 今別町ふれあい福祉センター3月の相談日

### 一般相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
電話相談	日常のあらゆる心配ごと 悩みごとなど	毎週月曜日～金曜日	10:00～17:00	社協職員

### 専門相談 専門相談員による相談

今年度の専門相談員による相談は終了しました

### 今別診療所 訪問診療日

- 3月2日(木)** 左記の日には訪問診療のため、午後の診療は先生が戻り次第行います。
- 3月9日(木)**
- 3月16日(木)** 予めご了承ください。

### 今別診療所 休診日

- 3月20日(月)** 左記の日には先生不在のため、休診となります。
- 3月22日(水)** 予めご了承ください。

【問】今別診療所 電話：0174-35-2680

### ふれあい文庫 2月の入荷図書

「月の立つ林で」(青山美智子)

2023年本屋大賞ノミネート作品。  
長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦められない芸人、娘や妻との関係が変化していることに寂しさを抱える二輪自動車整備士、早く自立したいと願う女子高生。バラバラの日常を送る彼らは「ツキのない話」というポットキャストに心を寄せていく。

「ライオン・ブルー」(呉勝浩)

「アマテラスの暗号」(伊勢谷武) 他4冊

## 道の駅いまべつからのお知らせ

### ひなまつり&ご卒業おめでとう

3月1日(水)～21日(火)まで  
れすとらん驛『特製サンデー』を400円で販売します!

今期ご卒園・ご卒業の方には『特製サンデー』をプレゼント

※生年月日がわかる身分証を提示していただいた方にもれなくプレゼントします  
おひとり様につき1回限りとさせていただきます。



### 3月の朝夕の放送

こしか しゅんすけ  
小鹿 隼輔さん  
(今別小1年:浜名)

### 編集後記

令和4年11月に発行された広報いまべつ700号が令和5年青森県広報コンクール町村の部で奨励賞を受賞しました。

100号から600号までの節目の広報に出ていた方へのインタビュー記事でお世話になった皆様や記事を書いてくださった庁舎内外の方々のご協力があってこそこの受賞だと思います。

これからもより良い広報を目指して精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

(広報担当:総務企画課 澤田大河)

お気軽にお越しください！  
 皆さまのお越しをお待ち致しております！

営業時間 / 昼11時30分～15時 (L.O.14時30分)

●写真はイメージです。 ●料金表示は全て税込みです。  
 ●料理内容等は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 ●土・日曜日、連休は混雑致しますので、お席予約をお願い致します。

✧カレーライス 660円 ✧海峡ラーメン (塩・味噌・醤油) 880円 ✧えび天丼 (えび3本入) 1,320円

龍飛崎温泉 たっぴ 1階 食事処 **海峽** 〒030-1711 外ヶ浜町字三厩龍飛54-274 ☎0174-38-2011(代)

クレジットカードご利用できます

外科・内科・整形外科  
**かにたクリニック**

院長 石戸谷 孝博  
 〒030-1303 東津軽郡外ヶ浜町字蟹田5-2  
 ☎0174-22-2333 FAX 0174-22-2266

往診・訪問診療も  
 行っております。  
 ご相談下さい。

通院の方は送迎バスをご利用頂けます。  
 詳しくはお問合せください

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM8:30～12:00	○	○	○	○	○	○
PM1:30～5:00	○	○	1:30 3:00	○	○	△
休診日	日曜・祝日					

**地元で働きたい方を募集します (急募)**

福祉の仕事は地元で安定した仕事を求める方に選ばれています。

- ・無資格者でも、専門資格取得で職員になれます。
- ・働きながら資格取得を目指す方を応援します。

募集職種：看護・准看護師・調理員 (地元で働きたい方大歓迎)  
 勤務地：外ヶ浜町三厩地区

特別養護老人ホームあじさい 外ヶ浜町高齢者生活福祉センター寿楽園  
 ☎0174-31-7000 ホームページ <http://www.ajisaikai.or.jp>

**スタッフを募集します (急募)**

未経験者・無資格者でも歓迎します  
 募集職種：介護員・調理員・事務員  
 勤務地：特別養護老人ホームなかやま荘 (今別町)

社会福祉法人 **双樹苑**  
 青森県東津軽郡今別町大字今別字西田248番地205 お問い合わせ先：☎0174-35-3961

**有料広告掲載しませんか (求人・イベント周知・参加者の募集など…)**

広報いまべつでは町民サービスの向上と企業や商店等による事業活動の活性化を支援するため、要綱を定め、有料広告を募集しています。

●縦4.5cm×横17cm 3,500円/月 ●縦4.5cm×横8cm 1,800円/月

広告掲載を希望する1ヵ月前までに広告の原稿を添えて総務企画課までお申し込み下さい。  
 (申込書は総務企画課に備え付けてあります)

【お問い合わせ先】今別町役場 総務企画課 電話：0174-35-3012

1ヵ月のみの掲載もOK!

**防災無線を聞き逃したら…**

**0174-31-5119** に電話をかけると防災無線の内容を聞くことができます！  
 ※放送終了後から24時間聞くことができます

有料広告